

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社 個どもの家		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日 ~ R7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年2月1日 ~ R7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに大変手厚い配置が実現出来ており、支援が充実しています。	療育の前後に、個別に必要な支援、支援内容について共有し、各職員がきめ細やかな関りについての意識を高く持ち対応しています。	毎週金曜日に行う会議にて活発な意見交換を行い、支援の充実についての意識付けを行います。また、職員の更なるスキルアップを目指し研修受講の機会を設けていきます。
2	療育室に加えて間仕切りを開放して活動できる空間を設けています。また、体幹の訓練も考慮し園庭には広く砂地を設けています。	環境を最大限に生かして、ひとり一人が安心して落ち着ける空間、時間である様に個別に配慮、工夫をしています。	今後も、引き続き環境を生かした安全、安心な空間を提供していきます。
3	定期的に全職員でモニタリングを行い、現状の様子や成長段階に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを図っています。	全職員で様々な情報を収集した上で利用児のアセスメント、分析を実施し、多角的な支援をもって児童発達管理責任者が支援計画の作成、見直しを行っています。	今後も、ひとり一人の利用児童に対して全職員が理解を深め、チームで意見を出し合い必要な支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の方との面談や相談時に、必要な助言等はしていますが家族保護者向けの研修等については実施していません。	保護者全体に向けての研修については、開催日時や研修内容など、保護者全員の都合や満足を考慮すると難しい要因も沢山あります。	今後、研修機会を設けるかについて、保護者のニーズを把握し、検討していきます。
2	事業継続計画に基づき、自然災害発生時マニュアル、感染症発生時マニュアルを策定し、訓練の実施を行っています。重要事項説明書にて保護者への説明を行い記名を頂いていますが周知に至りにくい現状があります。	全てマニュアルを作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し備え、帳面で活動内容としてお伝えしていたのですが説明が不十分であったのかもしれないかもしれません。	契約時に、各種マニュアルを備えて提示し、マニュアルや訓練についての説明時間をしっかり取りたいと思います。安全計画の説明についても説明を行います。
3			

公表

保育所等訪問 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社 個ども家		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日	～	R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年2月1日	～	R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	R7年2月1日	～	R7年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門知識を持ち、経験年数10年以上の職員を配置している。また、多職種支援として言語聴覚士の訓練も行っています。	訪問先の先生方とのコミュニケーションを大切に、何でも気軽に相談して頂ける雰囲気づくりを心がけている。その上で、集団での過ごし方、行事の参加の仕方など、先生や保護者と連携を取りながら進めています。	専門用語をTPOで使い分け、先生方や保護者の方にも分かるようにお伝えできるようスキルアップを目指します。
2	毎週金曜日の会議にて報告を行い、個々の児童の情報の共有を図っているため、訪問支援員と保育士間の連携ができています。	園での様子やくれよんでの様子を細かに連携を図っている。また、保護者への報告等もお帳面やline、面談等で詳しくお伝えしています。	
3	保育所等訪問支援員と職員間の連携が素晴らしい。また、全職員が学ぶことに意欲的だと感じる。開所当時から職員の入れ替わりが殆どなく安定した療育が出来ていると思います。	ネットや書籍等で情報を取得し、知識向上に繋がっていきたいと思います。	子どもたちがどこの地域でもどこの園でも安心して集団活動に参加できるよう園、保護者、他機関との懸け橋になりたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問のキャリア10年以上の職員が1名しかいない。	事業所の開始から6年目を迎える。そのため障害福祉サービスの経験年数が5年の職員が多いためこれから訪問支援員としての育成に努めたいと思います。	実績のある職員と一緒に訪問を行い支援員としての能力を身につけていきたいと思います。
2			
3			

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社子どもの家		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日 ～ R7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	R7年2月1日 ～ R7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに大変手厚い配置が実現出来ており、支援が充実しています。	療育の前後に、個別に必要な支援、支援内容について共有し、各職員がきめ細やかな関りについての意識を高く持ち対応しています。	毎週金曜日に行う会議にて活発な意見交換を行い、支援の充実についての意識付けを行います。また、職員の更なるスキルアップを目指し研修受講の機会を設けていきます。
2	外出体験を通し公共の場での過ごし方や必要な経験を積み重ねて興味の幅を広げて行けるよう取り組んでいます。	出かける前に説明を行い、挨拶やその場での過ごし方などSSTを行っています。	外出体験で得たこと、活動後の振り返りをして意味ある活動になるように今後も取り組んでいきたいと思っています。
3	定期的に全職員でモニタリングを行い、現状の様子や成長段階に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを図っています。	全職員で様々な情報を収集した上で利用児のアセスメント、分析を実施し、多角的な支援をもって児童発達管理責任者が支援計画の作成、見直しを行っています。	今後も、ひとり一人の利用児童に対して全職員が理解を深め、チームで意見を出し合い必要な支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の方との面談や相談時に、必要な助言等はしていますが家族保護者向けの研修等については実施していません。	保護者全体に向けての研修については、開催日時や研修内容など、保護者全員の都合や満足を考慮すると難しい要因も沢山あります。	今後、研修機会を設けるかについて、保護者のニーズを把握し、検討していきます。
2	事業継続計画に基づき、自然災害発生時マニュアル、感染症発生時マニュアルを策定し、訓練の実施を行っています。重要事項説明書にて保護者への説明を行い記名を頂いていますが周知に至りにくい現状があります。	全てマニュアルを作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し備え、帳面で活動内容としてお伝えしていたのですが説明が不十分であったのかもしれない。	契約時に、各種マニュアルを備えて提示し、マニュアルや訓練についての説明時間をしっかり取りたいと思います。安全計画の説明についても説明を行います。
3			